

For Mamiya and Bronica medium format cameras and accessories go to : www.ianbfoto.com

RZ67

Mamiya

AEプリズムファインダー

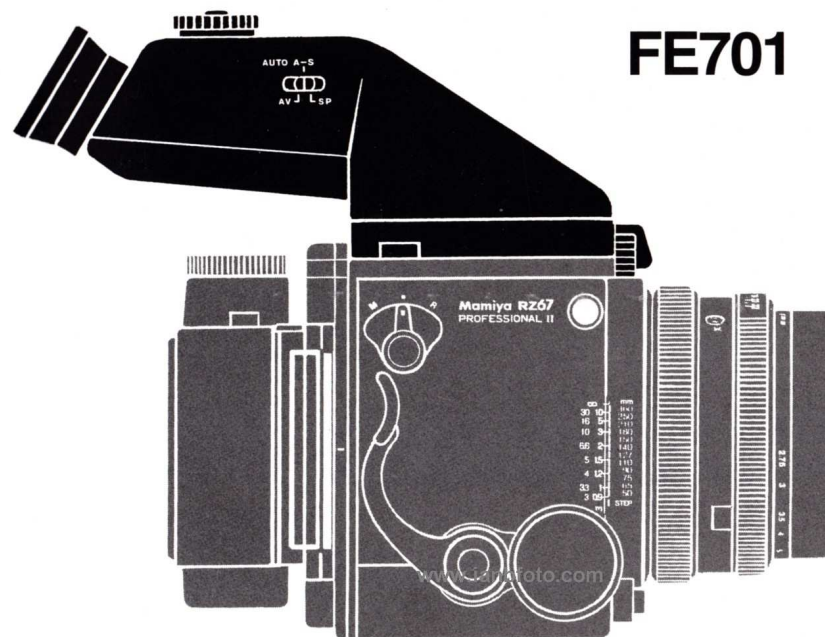
AE Prism Finder

AE Prismensucher

Viseur prisme AE

www.ianbfoto.com

Mamiya



使用外観は品質向上のため予告なく変更する場合があります。
Specifications and appearance are subject to change without notice.
Änderungen ohne vorherige Ankündigung vorbehalten
Les spécifications et les apparences peuvent changer sans préavis.

Printed in Japan
Imprime au Japon
22510-OH-01W

CE

日本語
English
Deutsch
Français

使用説明書
Instructions
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi

日本語

特長／部分の名称 3
 ファインダーの着脱のしかた／ファインダー内測光機能システム 4
 AEプリズムファインダーFE701の使いかた／AE撮影／AEロック 5
 AE撮影時のファインダー内のLED表示の見かた 6
 露出補正ダイヤル／マニュアル撮影／視度補正レンズ 7
 マニュアル撮影時の定点測光のLED・ランプ表示の見かた 8
 測光モード選択のヒント 9
 仕様 10

English

Special Features / Nomenclature 11
 Attaching and Removing the Finder / LED Displays during AE Photography 12
 Using the AE Prism Finder FE701/ AE Photography (AE Metering) / AE Lock (AEL) ... 13
 LED Displays during AE Photography 14
 Exposure Compensation Dial / Manual Photography / Manual Metering /
 Diopter Correction Lenses 15
 LED/Lamp Displays during Zero-mode Manual Photography 16
 Hints on Selecting the Metering Mode 17
 Specifications 18

Deutsch

Besondere Merkmale / Bezeichnung der Teile 19
 Wechseln der Sucher / LED Display im AE Prismensucher FE701 20
 Anwendung des Automatik Prismensuchers FE701/ Automatikbetrieb(Zeitautomatik)
 / Meßwertspeicherung (AEL) 21
 LED-Anzeigen im Automatikbetrieb 22
 Belichtungskorrekturskala / Aufnahmen im Manualbetrieb /
 Manuelle Blichungseinstellung / Augenkorrekturlinsen 23
 LED-Anzeige im Manualbetrieb 24
 Hinweise zur Wahl des Meßverfahrens 25
 Technische Daten 27

Français

Caractéristiques Principales / Description 28
 Montage et démontage du viseur / Affichage en mode AE 29
 Utilisation du viseur prisme AE FE701/ En mode AE 30
 Affichage en mode AE 31
 Mémorisation "AEL" / Correcteur d'exposition / Mode semi-automatique /
 Positionner le sélecteur des vitesses sur "AEF". 32
 Affichage en mode Semi-Auto 33
 Lentilles de correction dioptrique / Quelques suggestions concernant le choix du
 mode de mesure 34
 Précautions d'emploi 35
 Caractéristiques 36

ファインダーの着脱のしかた

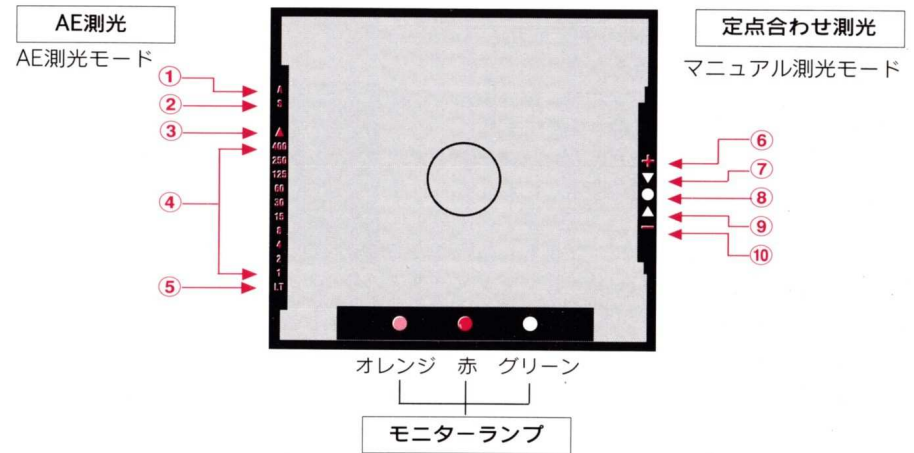
ファインダーの取り付けかた

- ★ カメラボディのウエストレベルファインダーを取り外してください。
 - ★ ファインダー用接点カバーが付いているとボディに取り付けられません。取り外してください。(写真 1)
1. AEプリズムファインダーの掛け金具をカメラボディの取り付け金具にはめ込みます。
 2. 両側の着脱ボタンを、ファインダーの後方に向かって押しながら押し込み、ファインダー前部をボディに押し付けてから指を離します。(写真 2)
- ★ この着脱ボタンは、左右から押しただけでは外れない安全機構です。

取り外しかた

取り外すときは、着脱ボタンを押し込みながらファインダーの前方を持ち上げます。

ファインダー内測光機能システム



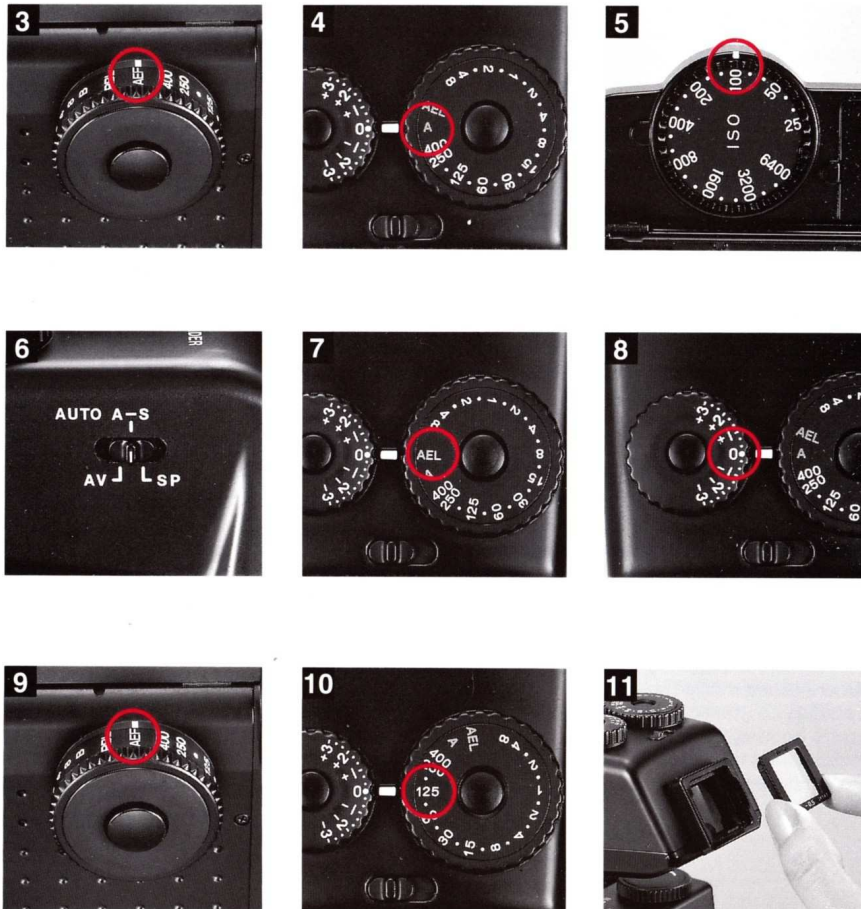
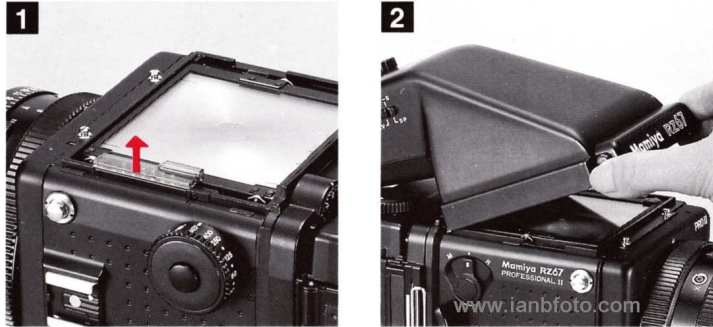
- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ① 平均測光点灯 | ⑥ 赤---- +0.75EV以上 |
| ② 部分測光点灯 | ⑦ オレンジ--- +0.25EV~+0.75EV |
| ③ 露出オーバー点滅 | ⑧ グリーン----- 適正(±0.25EV以内) |
| ④ シャッタースピード | ⑨ オレンジ---- -0.25EV~-0.75EV |
| ⑤ ロングタイム点灯/
露出アンダー点滅 | ⑩ 赤---- -0.75EV以下 |

日本語

AEプリズムファインダー-FE701

特長

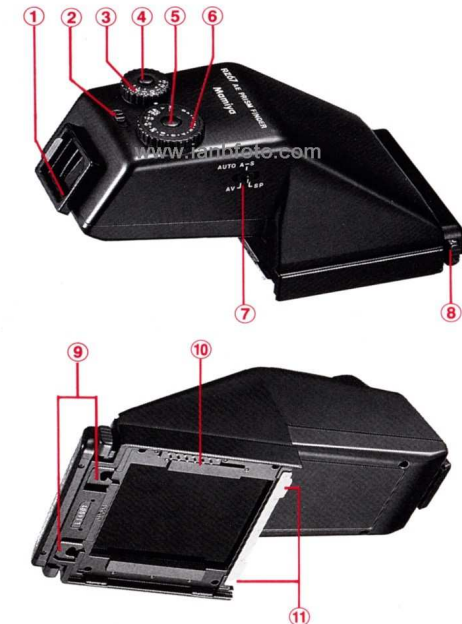
1. RZ用AEプリズムファインダー[FE701]は、ダハプリズムによる上下左右正像のファインダーに、電子シャッタースピード制御回路を組み込んだTTL絞り優先、自動露出のファインダーです。
2. このファインダーはAEポジションで撮影することにより、自動的に露出値が制御されピントを合わせてシャッターボタンを押すだけで、適正な露出が得られます。ファインダー内左側には、測光モードやシャッタースピードなどをLEDの点灯、点滅によって表示します。
3. マニュアル撮影時は、ファインダー内右側の定点合わせ機能によって適正露出を求めます。
4. このAEプリズムファインダー [FE701] には、新たに中間露出秒時を判読できる2つの秒時の露出スピード表示機能を採用して、より正確なデータ情報を可能にしました。
5. 測光方法は平均測光(AV)、部分測光(SP)とA-S自動切り換えの3つの測光モードから選択できます。
6. 被写体の条件が悪く、そのままAE撮影ができないとき、別の対象を測光してその測光値をロックして撮影できるAEロック機能や、露出補正機能(プラス、マイナス各3段階)も備えてあります。
7. 電子音によるアラームなど発信によって、ボディ側シャッタースピードダイヤルセットの誤操作などを解消しました。



2

部分の名称

- ① 接眼わく
- ② アイピースシャッターつまみ
- ③ 露出補正ダイヤル
- ④ 露出補正ロック解除ボタン
- ⑤ オート機能解除ボタン
- ⑥ シャッタースピードダイヤル
- ⑦ 3測光モード切り換えつまみ
- ⑧ 着脱ボタン
- ⑨ 取り付け金具
- ⑩ 電子接点
- ⑪ ファインダー掛け金具



3

AEプリズムファインダー FE701の使いかた

AE撮影 <AE(オート)測光>

- カメラのシャッタースピードダイヤルの"AEF"を白線の指標に合わせます。"AEF"以外のごとくでは、電源と接続しないのでオート機能が働きません。(写真 3)
- ★ AEF位置にセットして、ウエストレベルファインダーなど、自動露出測光機能のないファインダーが装着されていると、シャッターボタンを押してもリリースできず、同時に電子音のアラーム(警告)を発信して、そのファインダーの装着の違いを知らせます。
- AEファインダーのシャッタースピードダイヤル"A"を白線の指標に合わせます。(写真 4)
- ★ 白線の指標に、"A"または"AEL"をセットすると、ダイヤルはロックされ不用意にほかのスピード目盛に回せません。ロックの解除は、ダイヤルの中央のボタンを押しながら左右に回してください。
- 使用するフィルム感度(ISO)をフィルムホルダーのダイヤルにセットします。(写真 5)
- ★ このフィルム感度合わせを忘れると、正しい露出情報がAEファインダー側に伝達されず、思わぬ失敗を招きますのでご注意ください。
- 測光方法は次の3つの測光モードから選びます。モードの設定は切り換えつまみで行なってください。(写真 6)
 - 平均測光.....AV.....画面全体で測光
 - 部分測光.....SP.....画面中央部で測光
 - AUTO 自動A-S切り換え測光
 被写体の条件によって平均測光、部分測光を自動的に選択し、被写体により適した露出を選びます。
- 絞りを決めてから、シャッターボタンを半押しの状態にすると、ファインダー内左側に設定した測光モードが点灯します。
- 測光モードの表示のほかに、セットした絞り値に対して適正なシャッター値が点灯します。シャッターボタンをそのまま深く押して、シャッターを切ってください。
- ★ ファインダー内に2つのシャッタースピードが表示されたときは、例えば1/250と1/125秒が点灯した場合シャッタースピードはその中間値1/180秒に、近い演算値で切れます。
- ★ 中間秒時は1/250秒より遅いスピードからです。
- 露出補正をするには、次の2つの方法があります。

中間秒時の見かた(参考)
[中間秒時はLED表示されません]

シャッタースピード	中間秒時
1/400秒	
1/250	
	1/180秒
1/125	1/90
	1/45
1/60	1/22
	1/11
1/30	1/5.6
	1/2.8
1/15	1/1.4
	1.4
1/8	2.8
1/4	
1/2	
1	
2	
4	

AEロック

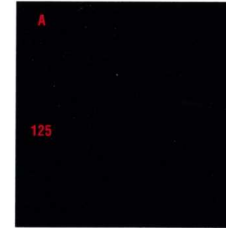
被写体の主要な一部に露出を合わせたいときに効果的です。どの測光方式でも使用できますが、部分測光での測光に最も効果があります。ファインダーのシャッタースピードダイヤルを"AEL"にセットします。(写真 7) 露出を合わせたい部分をファインダー中央部に入れてシャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを押し続けている間は、露出値が記憶され保たれます。シャッターボタンを半押ししたままで構図をとり直してシャッターを切りません。

AE撮影時のファインダー内のLED表示の見かた

適正露出

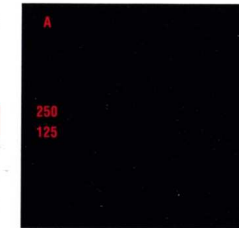
測光モード

点灯
適正值



測光モード

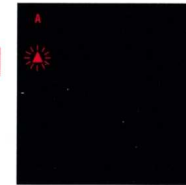
点灯
適正值



2つのスピードが点灯したときは、その中間値に近い演算値で切れます。

露出オーバー

測光モード
点滅
8回/毎秒



露出アンダー

測光モード

点滅
8回/毎秒

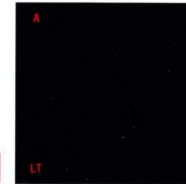


ロングタイム

測光モード

点灯

1秒より遅いシャッタースピードから4秒までの適正值に演算されていることを示します。



AEL撮影

測光モード

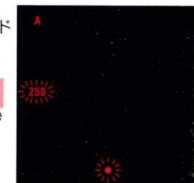
点灯
ロックスピード



電池容量低下

測光モード

点滅
2回/毎秒



表示スピードと赤のモニターランプが点滅

日本語

- シャッターボタンを速く押して、ファインダー内に表示が出る前にシャッターを切ると適正露出が得られません。AEロックではファインダー内に表示が出てからシャッターを切ってください。
- リモートコントロール撮影のときにはAEロックでは適正露出が得られません。

露出補正ダイヤル

ファインダーの露出補正ダイヤルには±3段階(EV)の露出補正機能が備わっています。また目盛は1/3段ごとにクリックストップします。+方向へ回せば露出が増加し、一方向へ回せば露出が少なくなります。露出補正の撮影が済んだら、忘れずにダイヤルを0に戻してください。この位置ではダイヤルが不用意に回らないようにロックされます。

ロック解除は、ダイヤル中央のボタンを押しながら左右に回してください。(写真 8)

マニュアル撮影

マニュアル測光

★ カメラのシャッタースピードダイヤルのセットはAEF位置です。(写真 9)

1. AEファインダーのシャッタースピードダイヤルを、8~1/400秒の希望のスピードに設定してください。(写真 10)
2. 測光モードを設定してください。
3. シャッターボタンを半押し状態にするとファインダー内左側に設定した測光モードにスピード値が点灯します。
4. マニュアル測光では、ファインダー内右側の定点測光モードで適正露出値を決めます。定点測光のモードは次のように点灯した表示で決めます。
5. 適正露出の決めかた

シャッターボタンを半押しした状態で、レンズの絞りリングを回して、中央グリーンランプが点灯するようにします。グリーンランプが点灯した位置が適正露出になります。

★ 適正露出を決める方法は、AEファインダーのスピードダイヤルを回してもできますが、レンズの絞りリングを回して決める方がカメラの操作上しやすいです。ほとんどの被写体の適正露出は、3つの測光モード(AV, SP, AUTO A-S)から選択すれば可能です。AEプリズムファインダーでは撮影条件に適した測光方式を選択すれば、ほとんどの被写体が適正な露出で撮影できますが、特殊な光線状態のときでも多少露出を加減すれば、ねらった部分に正確に露出が合わせられます。

視度補正レンズ

ファインダーに映る被写体は、一般の視力に合わせて見やすく疲れないように作られていますが、近視や遠視でメガネを掛けている方、あるいはメガネによる視度補正が十分でない方は、映像が見にくくなりますので、この視度補正レンズで視度を補正してください。

視度補正レンズの種類

+3、+2、+1、-0.5、-1、-2、-3、-4ディオプター。プラスは遠視用マイナスは近視用です。

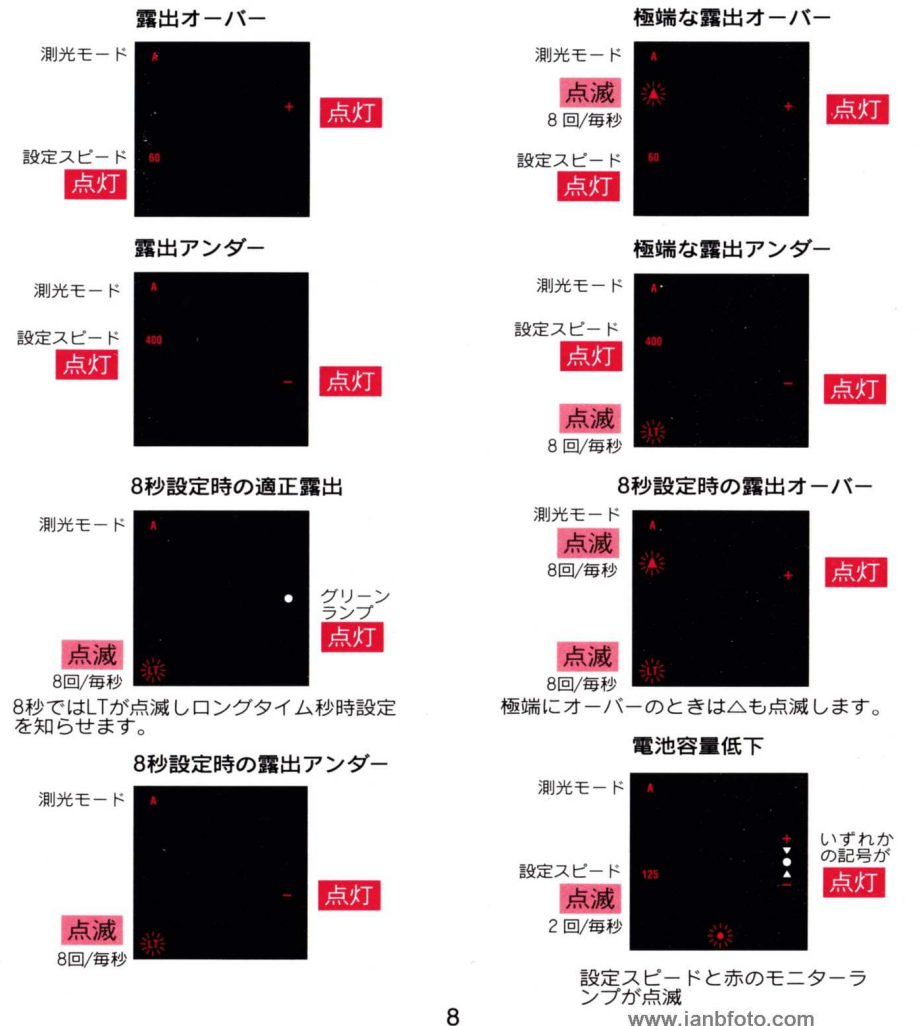
視度補正レンズの取り付けかた

アイカップを外してから接眼窓に、視度補正レンズを押し込み、アイカップを元どおりにはめ込みます。(写真 11)

日本語

マニュアル撮影時の定点測光のLED・ランプ表示の見かた

適正露出



測光モード選択のヒント

1. 雪景色や明るい空が画面の中に大きくはいつているとき、または、明るい窓際の被写体を室内から写す場合など、平均測光では明るい部分に影響されます。このようなとき部分測光に切り換えれば明るい部分に関係なく、写したい被写体の適正露出が得られます。部分測光の測光範囲はファインダースクリーン中央の丸の部分を目安にしてください。
 2. 逆光の場合、バックを主体にして被写体をシルエットにしたいときは平均測光で、被写体に露出を合わせたいときには部分測光で撮影します。
 3. A-S自動切り換え測光では、画面の中で部分測光範囲の明るさが画面全体の明るさに比べて、約1.5EV以上暗くなると自動的に部分測光に切り換わり、部分測光と平均測光範囲の明るさが同じ場合、または部分測光の範囲の方が明るい場合は平均測光に切り換わります。部分測光と平均測光の測光範囲の明るさがおよそ-0.75EVから-1.5EVのときには中間的な値で露出値がえられます。
 4. 雪景色や逆光などのときや、明暗のいちじるしい被写体のときに、より正確な露出を得るためには、部分測光にしてAEロックを使ってください。
- リモートコントロール撮影のときは、アイピースシャッターを閉じて接眼窓からの光を完全に遮断してください。
 - TTL測光ですから、レンズ交換によって写角が変化した場合でも、フィルターを使用したときでも、露出補正の必要はありません。
 - ミラーアップ撮影のときは、露出はミラーアップする直前の露出値でシャッターが切れます。(1分以内です。)
 - 接眼窓からファインダーに入る光に影響されると、適正露出が得られないことがあります。目をアイカップに確実に当て、できるだけ光が入らないようにして測光して撮影してください。
 - RBレンズを使用して撮影したときは、絞りとシャッタースピードの値が伝わらないので、ファインダー内にLEDの表示ができません。
 - ファインダースクリーンのタイプD(十字線)は、中央が透明になっているため、AEファインダーでは正しい露出が得られません。
 - カメラボディの上面とAEファインダーの裏面に、それぞれ13個の電気接点があります。ここに油やほこりが付着していると導通不良の原因になります。汚れているときは、清潔な布で良く拭いてから取り付けるようにしてください。
 - AUTO A-S切り換え測光モードの場合、測光モードは、被写体の条件で変わります。また、部分測光の範囲の明るさが画面全体の明るさに比べて、およそ-0.75EVから-1.5EVのときは"A"と"S"の両方が点灯します。
 - 点滅と同時に電子音のアラームが発信したら、電池の容量がほとんどありません。すぐ新しい電池と交換してください。
 - AEプリズムファインダーを使用したときは、モニターランプの位置は、ウエストレベルファインダーで見えるときと左右が逆になります。

仕様

ファインダー	: 上下左右正像のダハプリズムファインダー、ファインダー倍率0.81倍(標準110mmF2.8レンズ∞で)ルーベ倍率1.8倍、ファインダー視野率95%。
測光方式	: 平均測光(AV)、部分測光(SP)及びA-S自動切り換え測光(AUTO A-S)の3方式、ファインダー側面のつまみ切り換えによる選択。
制御方式	: 電子制御による絞り優先AE。
シャッター速度範囲	: オート...8秒~1/400秒(1/6EVごと) ただし4秒をこえると測光範囲外となりアンダーになります。 マニュアル...8秒~1/400秒(1/2EVごと)
ファインダー内LED	: 測光モードをA,S,シャッタースピードをLTから400のLEDの点灯で表示。中間秒時は2つのシャッタースピードの同時点灯による表示方法。露出オーバーは"△"、露出アンダーは"LT"記号の点滅で表示する。電池消耗はシャッタースピードのLEDの点滅、ボディの赤色モニターランプの点滅及び電子音によるアラーム発信による。マニュアル測光は、ファインダー内右側の赤、オレンジ、グリーン3色のLED定点合わせの測光方式に切り換わる。中央のグリーンランプ点灯が適正露出となる。
測光範囲	: ISO100、F2.8レンズでEV1(F2.8,4秒)~EV18.5(F32,1/400秒)。
露出補正	: ±3EV(1/3EVごとにクリックストップ)。ファインダー上部露出補正ダイヤルによる。
AEロック機能	: ファインダーシャッタースピードダイヤルのAELポジションでシャッターボタン半押しのみで測光値記憶。
電源	: カメラボディ内の電池を共用。
重量	: 940g

このAEプリズムファインダー[FE701]は、8秒以上の長時間の測光機能はありません。従って8秒設定時のアンダー表示(△)はありませんのでご注意ください。(露出アンダーの場合でもグリーンランプが点灯しています。)
8秒設定時の適正露出のチェックはグリーンランプが点灯していてももう一度レンズの絞りリングを回して、オーバー表示(+▽)方向から適正グリーンランプを点灯させてください。点灯した時点が適正露出です。

注意

- ファインダーを持ってカメラを持ち上げないでください。ファインダー取付部の破損およびカメラの落下による負傷、製品の破損の原因になります。
- ファインダーを透して太陽や強い光源を直接見ないでください。視力障害の原因となります。

カメラの保守と点検

- カメラはていねいに取り扱ってください。落としたりぶつけたりしないように注意してください。
- ファインダーの分解・改造は絶対にしないでください。
- カメラは、撮影以外の目的に使用しないでください。
- その他、使用説明書に記載されている注意事項をよくお読みください。

AE Prism Finder FE701

Special Features

1. The AE Prism Finder FE701 has a roof prism and produces an unreversed laterally correct image and electronic-controlled aperture-priority automatic exposure (AE).
2. The AE mode delivers perfectly exposed images once a suitable f/stop has been set on the lens and correct focus established. The metering mode, shutter speed and a number of other functions are displayed on the left side of the viewfinder by either glowing or blinking LEDs.
3. When wishing to select the shutter speed manually, the correct exposure can be obtained by zero-mode metering, utilizing the LEDs on the right side of the viewfinder.
4. In order to provide accurate readings, the AE Prism Finder FE701 features 2 exposure/speed displays so that intermediate exposure times can be read out.
5. The three metering modes are: Average (AV) , Spot (SP) and Auto-Shift (AUTO A-S).
6. The FE701 is also equipped with an AE Lock (AEL) and exposure compensation ($\pm 3EV$). In the AEL position, when exposure conditions do not permit the AE mode to be used, the exposure value from selected subject is locked in position to enable a proper exposure to result.
7. An electronic warning sound indicates that the shutter speed dial on the camera body is set incorrectly. It must be on AEF.

IMPORTANT:

In order for the AE Prism Finder to function, the shutter speed dial on the camera must be set to AEF. Once this is done, the camera dial is disconnected and only the shutter speed dial on the AE finder controls shutter speeds, either automatically when set to "A" or manually when set to any of the "white" speed settings.

Nomenclature

- 1 Eye-piece Window
- 2 Eye-piece Blind Lever
- 3 Exposure Compensation Dial
- 4 Exposure Compensation Dial Lock Release Button
- 5 Auto Function Release Button
- 6 Shutter Speed Dial
- 7 Metering Mode Selector
- 8 Finder Lock/Release Button
- 9 Attaching Latches
- 10 Electrical Contact
- 11 Attaching Pins



Attaching and Removing the Finder

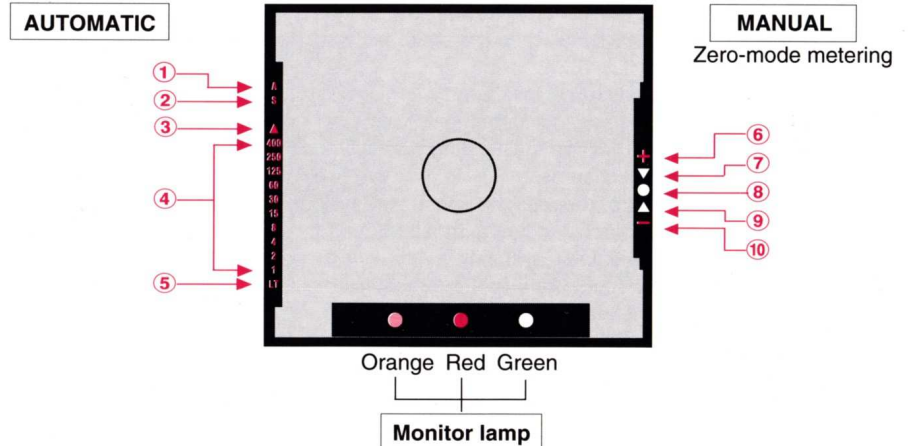
Attaching

- Remove the waist-level finder on the camera body.
 - Also remove the electrical contact cover, if present, or otherwise, the AE Prism Finder cannot be attached. (Photo 1)
1. Insert the two attaching latches on the front of the finder into the mounting holes on the front of the camera body as illustrated.
 2. Then, while pressing the finder lock/release buttons towards the rear of the finder, push them down, and after lowering the finder on the camera body, release the buttons. (Photo 2)
- Because of the double safety lock, the AE Prism Finder cannot be removed with a single squeezing action of the finder lock/release buttons; they must be pressed backward and also pushed down in order to remove the finder

Removing

Lift the front of the finder while pushing the finder lock/release buttons.

LED Displays during AE Photography



- | | |
|---|--|
| ① 'Average metering mode' illuminates | ⑥ Red.....overexposure, more than +0.75EV |
| ② 'Spot metering mode' illuminates | ⑦ Orange.....overexposure, +0.25EV~+0.75EV |
| ③ 'Overexposure' blinks | ⑧ Greencorrect exposure, within $\pm 0.25EV$ |
| ④ Shutter speed | ⑨ Orange.....underexposure, 0.25EV~-0.75EV |
| ⑤ 'Long time' illuminates or blinks/ (1~4.8 sec.)'Underexposure' blinks | ⑩ Red.....underexposure, less than -0.75EV |

Using the AE Prism Finder FE701

AE Photography [AE (Auto) Metering]

- To switch to the AE mode, align "AEF" on the shutter speed dial on the camera body with the white index mark. At any other setting on the shutter speed dial, electronic coupling will not take place making the auto functions inoperative. (Photo 3)
- Please note that, if a finder without automatic exposure metering functions (e.g. the waist-level finder) is set to the AEF position and mounted on the camera, the shutter will not release even when the shutter release button is pressed. Simultaneously, an electronic sound will warn of incorrect finder installation.
- Align "A" on the shutter speed dial on the AE Prism Finder with the white index mark. (Photo 4)
- When "A" or "AEL" is set to the white index mark, the dial will lock to prevent accidental movement. The lock can be released by turning the dial clockwise or counterclockwise while continuously pressing on the center button.
- Set the ISO film speed to the corresponding stop on the film speed dial on the film holder. (Photo 5)
- Failure to set the proper film speed will prevent correct exposure data from being transmitted to the AE Finder and may result in wrong exposures.
- For average metering set the metering mode selector to "AV", for spot metering set to "SP" and/or for AV-SP auto-shift metering set to "AUTO A-S". (Photo 6)
- At "AV"exposure is measured over the entire picture frame and averaged.
- At "SP".....only the central area is measured.
- At "AUTO A-S".....average or spot metering will be automatically selected according to the lighting condition, thus ensuring accurate exposures.
- After selecting the aperture, depress the shutter release button halfway and the selected metering mode LED will illuminate on the left side of the viewfinder.
- In addition, the correct shutter speed for the preselected aperture will illuminate. Continue pressing the button all the way down to release the shutter.
- If, during AE photography, two shutter speeds glow simultaneously in the finder, an intermediate exposure will result when the shutter is fired.

For example, when speeds 1/250 and 1/125 sec. illuminate simultaneously, the shutter will be released at a speed close to the intermediate value of 1/180.

Intermediate Speeds (Reference)
(No LED display in the viewfinder)

Shutter speed	Intermediate speed
1/400sec	
1/250	1/180sec
1/125	1/90
1/60	1/45
1/30	1/22
1/15	1/11
1/8	1/5.6
1/4	1/2.8
1/2	1/1.4
1	1.4
2	2.8
4	

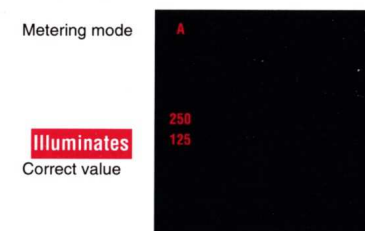
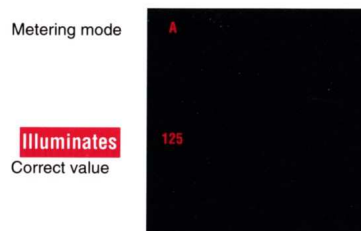
AE Lock [AEL]

The AE Prism Finder designed to make accurate exposure measurements automatically for most subjects. However, for unusual lighting or special effects, the following two methods of exposure compensation can be utilized.

The AEL position is very useful when making selective exposure measurements of important subject areas which are not in the center. Although AEL can be used with any metering

LED Displays during AE Photography

Correct exposure

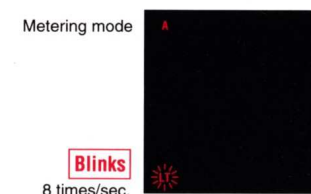


When two shutter speeds illuminate in the viewfinder, an automatically computed averaged value near the intermediate shutter speed will be selected.

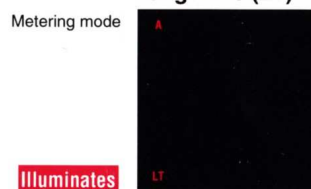
Overexposure



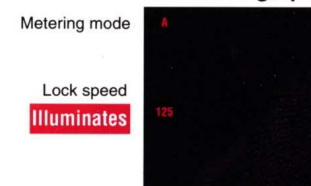
Underexposure



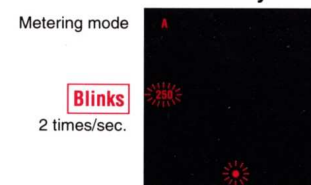
Long Time (LT)



AEL Photography



Low Battery Power



The display speed and red monitor lamp blink.

English

mode, it is most effective under SP.

Set the shutter speed dial on the AE Prism Finder to the AEL position. (Photo 7) Then, while looking through the viewfinder, center the most important part of the subject in the center circle while keeping the shutter release button depressed halfway. In this state, the exposure reading will be memorized. After adjusting for composition as desired, release the shutter.

- When using AEL, if the shutter release button is pressed all the way before the shutter speed LED illuminates in the viewfinder, incorrect exposure may result. Therefore, do not release the shutter until it illuminates.
- Please note that correct "AEL" exposure cannot be obtained when using the remote control unit.

Exposure Compensation Dial

Within $\pm 3EV$ the dial stops at 1/3 click-stop intervals. Turning the dial in the "+" direction increases exposure (OVEREXPOSURE), while turning it the "-" direction decreases exposure (UNDEREXPOSURE).

After using the exposure compensation, be sure to return the dial to the "0" (zero) position where the dial will lock to prevent accidental movement. The dial can be unlocked by turning the button in the center of the dial clockwise or counterclockwise. (Photo 8)

Manual Photography

Manual Metering

- Set the camera shutter speed dial to "AEF".
- 1. Set the shutter speed dial on the AE Prism to any speed except "A" and "AEL". (Photo 9)
- 2. Select the metering mode ("AV", "A-S" or "SP") with lever 7 on the side of the finder. (Photo 10)
- 3. While pressing the shutter release button half way, the selected metering modes (A or S) will glow on top of the left side of the finder and the speed set on the dial will appear further down.
- 4. You now use the manual zero mode by observing the signals on the right side of finder.
- 5. Determining the correct exposure:
 - You decide either which shutter speed or which f/stop you want to use. For selected shutter speed, turn lens diaphragm ring until a green dot appears on the right side of the finder. A red + sign on top and - sign on the bottom and orange arrows will guide you whether to move to higher or lower f/stops.
 - Similarly, if you select an f/stop, you turn the Finder's shutter speed dial to faster or slower speeds until you obtain the green dot.

Diopter Correction Lenses

The viewfinder system is adjusted for average eyesight. It is therefore recommended that far-sighted or near-sighted individuals not wearing eyeglasses use a diopter correction lens.

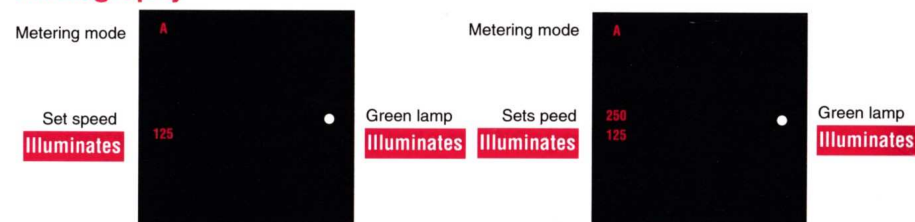
Types of Diopter Correction Lenses

+3, +2, +1, -0.5, -1, -2, -3, -4. Please note that plus lenses are for far-sighted and minus lenses are for near-sighted individuals.

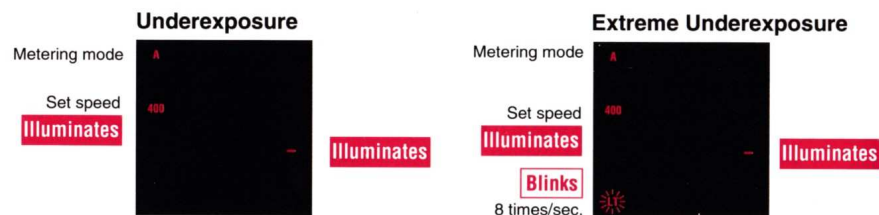
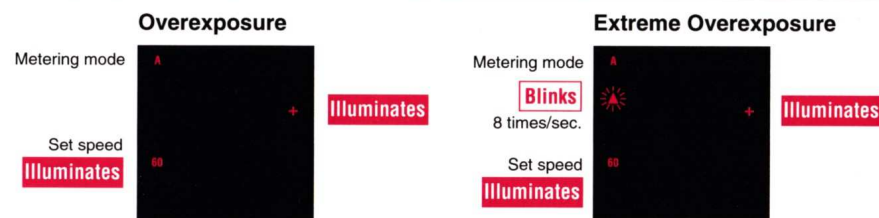
English

LED/Lamp Displays during Zero-mode Manual Photography

Correct Exposure

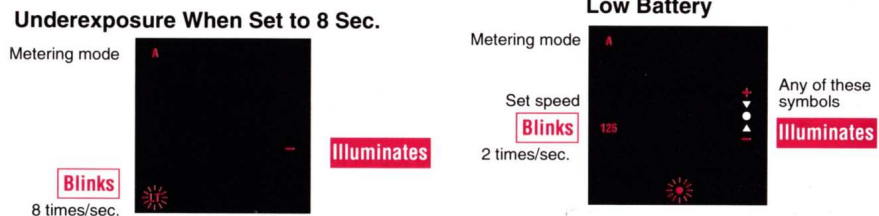


When two shutter speeds illuminate in the viewfinder, an intermediate shutter speed will be selected as the proper speed.




When the shutter speed is set to 8 sec., "LT" blinks to indicate that a long time setting has been made.

In the case of an extreme overexposure, Δ also blinks.



The set speed and red monitor lamp blink.

Attaching Diopter Correction Lenses

After removing the eyecup, press the diopter correction lens onto the eyepiece frame, and then replace the eyecup.(Photo )

Adjustable Diopter Magnifier (2.4x)

This useful optional accessory attaches to the finder and swings out of the way when not in use. It magnifies the center image 2.4 times, has built-in diopter adjustment from +4 to -6. It makes critical focusing very easy and convenient. Write for information sheet.

Hints on Selecting the Metering Mode

1. If the Average metering mode is used for photographing a subject indoors by a bright window or a subject outdoors against a bright sky or snowscape, the bright background will unduly affect the meter reading, resulting in underexposure. Under these conditions, change to the Spot metering mode which will eliminate adverse background influence and assure accurate exposure. For Spot metering, use the circle in the center of the focusing screen as a reference point.
 2. Use the Average metering mode when creating backlit silhouettes and the Spot metering mode to highlight the subject.
 3. In the Auto-Shift mode, if the area read by Spot metering is more than 1 1/2 stops darker than the area read under Average metering, Spot metering mode is automatically selected. When the area read by the Spot metering is approximately the same value as, or brighter than that under Average metering, Average metering is automatically selected. When the area read by the Spot meter is 3/4 to 1 1/2 stops darker than that read by Average metering, the AE Prism Finder automatically selects a proper intermediate exposure value, picking the equivalent of a center-weighted reading. At this time, both "AV" and "SP" will illuminate in the viewfinder.
 4. For the highest degree of exposure accuracy possible when working under difficult lighting conditions, use Spot metering and the AE lock.
 - When using the remote control unit, close the eyepiece shutter to completely eliminate stray light that might enter through the eyepiece window.
- Since TTL metering is employed, exposure compensation is automatic with all lenses, with close-up photography and with filters.
 - During mirror-up operations, the shutter can be released up to one minute after the mirror is raised; however, auto exposure will be based on the lighting conditions prevailing just before the mirror is raised.
 - Extraneous light coming into the viewfinder through the eyepiece will affect metering. So be sure to snugly hold your eye on the eyecup to prevent any incidental light from entering.
 - Because RB lenses are not equipped with electronic coupling and therefore no LEDs are displayed in the viewfinder, the AE Prism Finder will not function with RB lenses.
 - Because of the totally transparent center of the Type D Cross Hair Focusing Screen, the AE Prism Finder will not indicate correct exposure with this screen in place.
 - There are 13 electrical contacts between the top of the camera and the base of the AE Prism Finder. Should dirt or grease adhere to these contacts, electronic coupling may be disrupted, resulting in a malfunction of the finder. If the contacts need cleaning, remove the finder and use a soft, clean cloth to gently and thoroughly clean them.

Specifications

Viewfinder	: Features a roof prism design and an unreversed laterally correct image. Image magnification is 0.81x (with 110mm f/2.8 standard lens at infinity) with a built-in 1.8x magnifier; 95% of the field of view visible.
Metering system	: There are three metering modes Average(AV), Spot (SP) and Auto-Shift (AUTO A-S) selected by the metering mode selector on side of the viewfinder. During manual metering, three LEDs (red, orange and green) on the right side of the viewfinder facilitate zero-mode metering. Correct exposures are indicated by a glowing green LED in the center.
Control system	: Electronic aperture-priority AE.
Shutter speed range	: AE: 8 sec.~ 1/400 sec. (1/2 stop intervals). Manual: 8 sec.~ 1/400 sec. (1/2 stop intervals).
Viewfinder LED display	: In the metering modes "A" (Averaged) and "S" (Spot), shutter speeds from 1 to 1/400 sec. and "LT" (Long Time), indicating speeds from 1 to 4 sec., will glow. When two adjacent shutter speeds flash at the same time, it indicates intermediate shutter speeds. Overexposure is shown by the glowing at the top of the scale, underexposure by "LT" on the bottom of the scale.
Metering range	: EV1~18.5(f/2.8 at 4 sec. to f/32 at 1/400 sec. with ASA/ISO 100 film and f/2.8 standard lens)
Exposure compensation	: ±3 stops with intermediate 1/3 stop positions,
AE lock	: When the shutter speed dial on the camera is set to the AEL positions. The exposure reading will be stored in the AE Prism Finder when the shutter speed dial is pressed halfway.
Power supply	: Battery in the camera body.
Weight	: 940g.

- In the AUTO A-S metering mode, the metering mode is selected according to subject conditions. If the area read under Spot metering is approximately 3/4 to 1 1/2 stops darker than the brightness of the entire picture area, both "A" and "S" will illuminate.
- When the batteries are almost dead, and electronic warning sound will also accompany the above noted blinking. At that time, please replace the batteries immediately.
- When the AE Prism Finder FE701 is attached to the camera, the LEDs appear in reversed order.

AE Prismensucher FE701

Besondere Merkmale

1. Der Automatik-Prismensucher FE701 liefert ein seitenrichtiges, aufrechtstehendes Bild und gestattet elektronikgesteuerte Verschlusszeitenautomatik.
2. Nach Vorwahl einer geeigneten Blende und dem Scharfeinstellen ermittelt die Automatik die korrekte Belichtung. Das Meßverfahren, die Verschlusszeiten und eine Reihe weiterer Funktionen werden dabei durch konstant leuchtende oder blinkende LEDs auf der linken Sucherseite angezeigt.
3. Wenn Sie die Verschlusszeiten manuell einstellen möchten, erfolgt der Nullabgleich über die Leuchtdioden auf der rechten Sucherseite.
4. Zur genaueren Kontrolle der Belichtungsdaten werden Zwischenwerte der Verschlusszeit durch zwei gleichzeitig aufleuchtende LEDs angezeigt.
5. Es stehen drei Meßverfahren zur Wahl: Integralmessung (AV), Spotmessung (SP) und automatische Umschaltung zwischen beiden (AUTO A-S).
6. Der AE Prismensucher verfügt über Meßwertspeicherung (AEL) sowie über Belichtungs-korrekturmöglichkeit (± 3 LW). In Stellung "AEL" bleibt die ermittelte Belichtungszeit solange gespeichert, wie der Auslöser gedrückt gehalten wird.
7. Wenn das Verschlusszeiten-Einstellrad am Kameragehäuse nicht auf "AEF" gestellt wurde, ertönt ein akustisches Warnsignal.

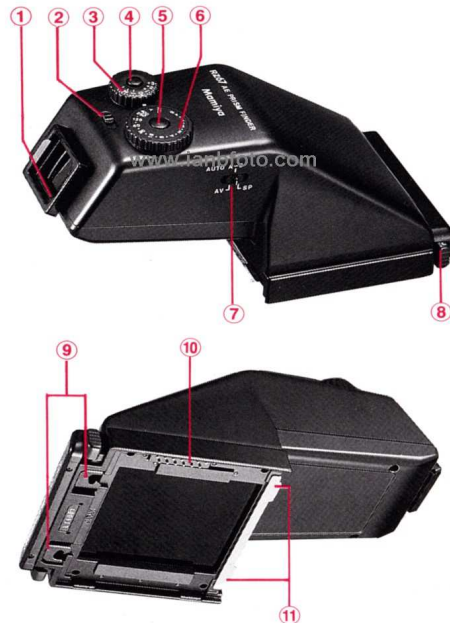
WICHTIG

Der Automatik Prismensucher mißt nur dann, wenn das Verschlusszeiten-Einstellrad am Kameragehäuse auf "AEF" steht. Das Zeitenrad am Gehäuse ist dabei arretiert.

Die Einstellung der Automatikpositionen oder der Verschlusszeiten wird nur am Einstellrad des Prismensuchers vorgenommen.

Bezeichnung der Teile

- 1 Sucherokular
- 2 Okularverschluss
- 3 Belichtungskorrekturskala
- 4 Entriegelung der Belichtungskorrekturskala
- 5 Automatik-Entriegelung
- 6 Verschlusszeitenrad
- 7 Meßwerkschalter
- 8 Sucherverriegelung
- 9 Verriegelungsklaue
- 10 Elektrische kontakte
- 11 Ansetzfeder



Wechseln der Sucher

Ansetzen

- Nehmen Sie den Faltlichtschacht von der Kamera ab.
- Entfernen Sie, so vorhanden, den Kontaktdeckel, da sich der Automatik-Prismensucher sonst nicht ansetzen läßt. (Abb. 1)

1. Setzen Sie die beiden hinteren Ansetzfeder in die entsprechenden Nuten im Kameragehäuse ein.
 2. Drücken Sie die Verriegelungsknöpfe des Suchers nach hinten und innen und klappen den Sucher nach unten. Durch Loslassen der Knöpfe wird der Sucher arretiert. (Abb. 2)
- Eine doppelte Sperre verhindert, daß der Sucher durch einfachen Druck auf die Verriegelungsknöpfe gelöst wird. Sie müssen stets nach hinten und innen gedrückt werden.

Abnehmen

Drücken Sie die Verriegelungsknöpfe nach hinten und innen und heben den Sucher vorne ab.

LED Display im AE Prismensucher FE701

AUTOMATIK

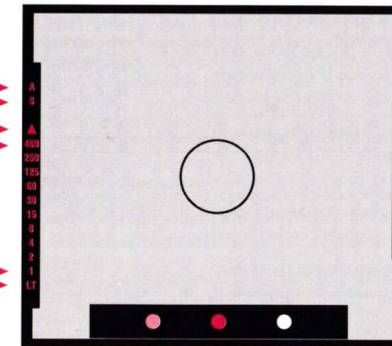
Zeitautomatik

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

MANUELL

Nullabgleich

- 6
- 7
- 8
- 9
- 10



Orange Rot Grün

Kontrollampen

- | | |
|---|--|
| 1 Integralmessungsanzeige leuchtet | 6 Rot.....Überbelichtung, mehr als +0,75 LW |
| 2 Spotmessungsanzeige leuchtet | 7 Orange..Überbelichtung, +0,25 bis +0,75 LW |
| 3 Überbelichtungsanzeige blinkt | 8 Grün.....Korrekte, Belichtung, innerhalb $\pm 0,25$ LW |
| 4 Verschlusszeiten | 9 Orange..Unterbelichtung, -0,25 bis -0,75 LW |
| 5 Langzeitanzeige leuchtet oder blinkt (2-4s bzw. 8s) | 10 Rot.....Unterbelichtung, mehr als -0,75 LW |

Anwendung des Automatik Prismensuchers FE701

Automatikbetrieb (Zeitautomatik)

1. Drehen Sie das Verschlusszeiten-Einstellrad am Kameragehäuse auf die Rastposition "AEF" für Belichtungsautomatik. In jeder anderen Stellung des Zeitenknopfes erfolge keine elektronische Kupplung, so daß die Belichtungsmessung funktionsunfähig bleibt.

(Abb. 3)

• Bitte beachten Sie, daß sich der Verschluss nicht auslösen läßt, wenn das Zeitenrad am Kameragehäuse auf "AEF" steht, jedoch ein Sucher ohne Belichtungsmessung (z.B. Lichtschacht) angesetzt ist. Darüber hinaus erinnert ein akustisches Warnsignal an die unkorrekte Einstellung.

2. Drehen Sie das Verschlusszeitenrad des Suchers so, daß das "A" dem weißen Index gegenübersteht. (Abb. 4)

• In den Einstellungen "A" und "AEL" ist das Verschlusszeitenrad arretiert, um ein versehentliches Verstellen unmöglich zu machen. Die Sperre kann aufgehoben werden, indem das Zeitenrad unter Druck auf die Automatik-Entriegelung auf eine beliebige Zeit gedreht wird.

3. Stellen Sie die korrekte Filmpflichtigkeit an der Rollfilmkassette ein. (Abb. 5)

• Wird diese Einstellung nicht vorgenommen, erhält der Sucher Fehlinformationen, die zu einer falschen Belichtungsmessung führen.

4. Stellen Sie den Meßwerteschalter auf "AV" für Integralmessung, auf "SP" für Spotmessung oder auf "AUTO A-S" für automatische Umschaltung zwischen beiden. (Abb. 6)

• In Stellung "AV" wird die Belichtung integral über das gesamte Bildfeld gemessen

• In Stellung "SP" nur über den Kreis in der Suchermitte.

• In Stellung "AUTO A-S" wird die Meßart in Abhängigkeit vom Motivkontrast automatisch gewählt und ergibt dadurch besonders hohe Meßgenauigkeit.

5. Wählen Sie die gewünschte Arbeitsblende vor. Beim Antippen des Auslösers wird die Meßart durch eine LED links oben im Sucher angezeigt.

6. Darüber hinaus leuchtet die LED der ermittelten Verschlusszeit auf. Ein vollständiges Durchdrücken des Auslösers löst den Verschluss aus.

• Leuchten im Automatikbetrieb zwei Verschlusszeiten-LEDs gleichzeitig auf, wird beim Auslösen mit einer Zwischenzeit belichtet. Leuchten beispielsweise die LEDs für 1/250 und 1/125 s zugleich auf, ergibt sich eine Verschlusszeit, die nahe bei 1/180 s liegt.

Zwischenzeiten (Referenz)
(keine LED-Anzeige im Sucher)

Verschlusszeit	Zwischenzeit
1/400sec	
1/250	
	1/180sec
1/125	1/90
1/60	1/45
1/30	1/22
1/15	1/11
1/8	1/5.6
1/4	1/2.8
1/2	1/1.4
1	1.4
2	2.8
4	

Meßwertspeicherung (AEL)

Die Automatik des prismensuchers ermittelt bei den meisten Motiven eine korrekte Belichtung. Bei schwierigen Lichtverhältnissen bzw. für besondere Effekte läßt sich die Belichtung korrigieren.

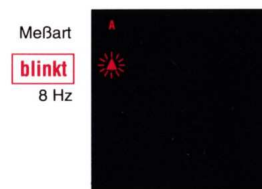
LED-Anzeigen im Automatikbetrieb

Korrekte Zeit



Leuchten zwei Zeiten gleichzeitig, wird automatisch eine Zwischenzeit gewählt.

Überbelichtung



Unterbelichtung



Langzeitbelichtung



Die korrekte Verschlusszeit liegt zwischen 1 und 4 s.

Meßwertspeicherung



Erschöpfte Batterie



Die korrekte Verschlusszeit und die Kontrollampe blinken.

Deutsch

Die Meßwertspeicherung ist ein äußerst genaues Verfahren zur präzisen Belichtung, wenn sich das Hauptmotiv nicht in der Bildmitte befindet. Obwohl grundsätzlich mit allen Meßmethoden möglich, empfiehlt sich dazu ganz besonders die Spotmessung. Stellen Sie das Verschlusszeitenrad am AE Prismensucher auf "AEL". (Abb 7)
Blicken Sie in den Sucher, bringen den Kreis in Suchermitte mit dem bildwichtigsten Detail zur Deckung und tippen den Auslöser an. Der Meßwert bleibt gespeichert, solange der Auslöser angetippt gehalten wird. Nach Wahl des endgültigen Bildausschnitts kann der Auslöser voll durchgedrückt werden.

- Wird der Auslöser in Stellung "AEL" des Verschlusszeitenknopfes voll durchgedrückt, bevor die Verschlusszeitenanzeige im Sucher aufleuchtet, so kann sich eine Fehlmessung ergeben. Warten Sie daher mit der Auslösung bis zum Aufleuchten der Anzeige.
- Mit Fernauslösung ist in Stellung "AEL" des Verschlusszeitenknopfes keine richtige Belichtung möglich.

Belichtungskorrekturskala

Nach Druck auf die Entriegelung läßt sich das Rad in Drittelstufen um ±3 Belichtungsstufen korrigieren. Drehen in Richtung "+" ergibt Überbelichtung, in Richtung "-" Unterbelichtung. Achten Sie darauf, daß nach Beendigung der zu korrigierenden Aufnahmen die Korrekturskala wieder in die Nullstellung gebracht werden muß. Sie ist dort verriegelt, so daß eine unbeabsichtigte Verstellung ausgeschlossen ist. (Abb 8)

Aufnahmen im Manualbetrieb

Manuelle Blichungseinstellung

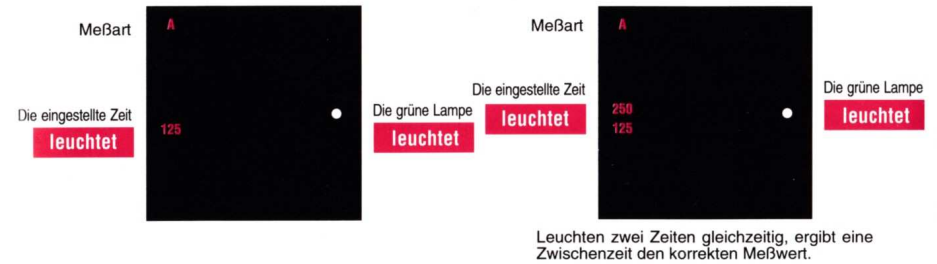
- Stellen Sie das Verschlusszeitenrad am Gehäuse auf "AEF" .(Abb 9)
- 1. Stellen Sie das Verschlusszeitenrad des Suchers auf eine beliebige Position außer "A" und "AEL". (Abb. 10)
- 2. Stellen Sie am Meßwerkschalter (7) die gewünschte Meßmethode ("AV", "AUTO A-S" oder "SP") ein.
- 3. Bei angetipptem Auslöser leuchtet links oben die LED für die Meßmethode (A oder S) auf und darunter die der eingestellten Verschlusszeit.
- 4. Zum Nullabgleich verwenden Sie die Leuchtdioden auf der rechten Sucherseite.
- 5. Bestimmung der korrekten Belichtung:
Stellen Sie die gewünschte Blende oder Belichtungszeit ein. Wollen Sie mit einer bestimmten Verschlusszeit arbeiten, drehen Sie den Blendenring so lange, bis die grüne LED auf der rechten Sucherseite aufleuchtet. Rote "+" oder "-" LEDs bzw. orangefarbene Pfeile oben und unten zeigen an, ob die Blende weiter geöffnet oder geschlossen werden muß. Wollen Sie dagegen mit einer bestimmten Blende arbeiten, drehen Sie das Verschlusszeitenrad des Suchers auf eine kürzere oder längere Verschlusszeit, bis ebenso die grüne LED aufleuchtet.

Augenkorrekturlinsen

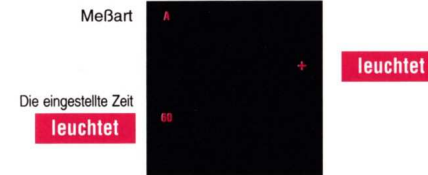
Das Suchersystem ist auf Normalsichtige abgestimmt. Kurz- oder Weitsichtige, die ohne Brille arbeiten, sollten Augenkorrekturlinsen verwenden.

Deutsch

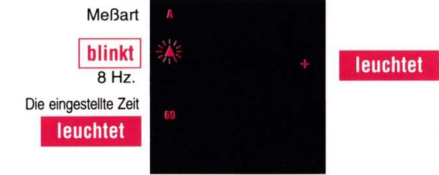
LED-Anzeige im Manualbetrieb



Überbelichtung



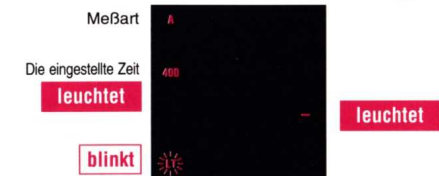
Extreme Überbelichtung



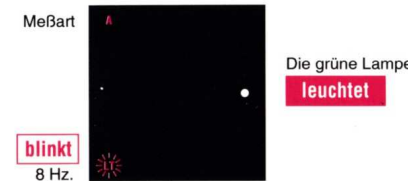
Unterbelichtung



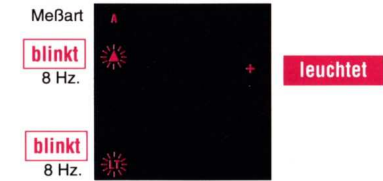
Extreme Unterbelichtung



Korrekte Belichtung bei Einstellung auf 8 s



Überbelichtung bei Einstellung auf 8 s



Unterbelichtung bei Einstellung auf 8 s



Erschöpfte Batterie



Die eingestellte Zeit und die rote Kontrolllampe blinken. (The set time and the red control lamp blink.)

Deutsch

Korrekturlinsentypen

+3, +2, +1, -0.5, -1, -2, -3, -4. Pluslinsen sind für Weitsichtige, Minuslinsen für Kurzsichtige.

Ansetzen der Korrekturlinsen

Nehmen Sie die Augenmuschel ab, drücken die Korrekturlinse in die Okularfassung und setzen die Augenmuschel wieder an. (Abb. 11)

Sucherlupe 2.4x

Dieses nützliche Zubehör wird an den Prismensucher gesteckt und läßt sich bei Nichtgebrauch hochschwenken. Das Sucherzentrum wird 2.4x vergrößert, die eingebaute Korrektur umfaßt den Bereich von +4 bis -6 dpt. Die Sucherlupe erleichtert das präzise Scharfeinstellen.

Hinweise zur Wahl des Meßverfahrens

1. Bei Innenaufnahmen gegen ein helles Fenster bzw. Außenaufnahmen gegen einen hellen Himmel oder im Schnee führt Integralmessung zur Unterbelichtung des Hauptmotivs. In diesem Fall kann die Belichtung durch Umschalten auf Spotmessung auf das Hauptobjekt abgestimmt werden. Hierfür gilt der in der Mitte der Einstellscheibe sichtbare Kreis als Meßfeld.
 2. Bei Gegenlicht eignet sich die Integralmessung, wenn das Motiv als Silhouette dargestellt werden soll, die Spotmessung, wenn volle Zeichnung im Hauptobjekt gewünscht wird.
 3. Bei Einstellung auf automatische Umschaltung zwischen beiden Meßverfahren wählt die Kamera die Spotmessung, sobald das Meßfeld für Spotmessung 1/2 Blenden dunkler ist als jenes für Integralmessung. Ist die Helligkeit in beiden Meßfeldern etwa gleich, schaltet die Kamera automatisch auf Integralmessung. Beträgt die Helligkeitsdifferenz 3/4 bis 1 1/2 Belichtungsstufen, wählt die Automatik einen Zwischenwert, der einer mittenbetonten Integralmessung entspricht. Im Sucher wird dies durch gleichzeitiges Aufleuchten der "A" und "S" LEDs angezeigt.
 4. Soll unter schwierigen Beleuchtungsverhältnissen höchstmögliche Belichtungs-genauigkeit erzielt werden, so empfiehlt sich Spotmessung mit Meßwertspeicherung.
- Bei Aufnahmen mit Fernauslösung sollte das Okular verschlossen werden, da die Meßwerte durch das sonst eintretende Fremdlicht verfälscht werden.

Deutsch

- Da die Belichtungsmessung durch das Objektiv erfolgt, ist bei Nahaufnahmen und bei Verwendung von Filtern keine Belichtungskorrektur erforderlich.
- Bei Aufnahmen mit Spiegelvorauslösung kann der Verschuß bis zu einer Minute nach dem Hochklappen des Spiegels ausgelöst werden. Die automatisch ermittelte Belichtung entspricht jedoch den Lichtverhältnissen unmittelbar vor dem Hochklappen des Spiegels.
- Durch das Okular einfallendes Fremdlicht kann die Belichtungsmessung beeinträchtigen. Halten Sie das Auge stets so dicht wie möglich an die Augenmuschel oder schließen Sie den Okularverschuß.
- RB Objektiv gestatten keine elektronische Kupplung, so daß die Sucher LEDs nicht aufleuchten und auch keine Belichtungsmessung erfolgt.
- Wegen des zentralen Klarflecks der Einstellscheibe D (Fadenkreuz) ist mit ihr keine korrekte Belichtungsmessung möglich.
- Dreizehn vergoldete Kontakte gewährleisten die elektronische Verbindung zwischen dem AE Prismensucher und dem Kameragehäuse. Schmutz oder Fett an diesen Kontakten können zu Fehlmessungen führen. Nehmen Sie ggf. den Sucher ab und reinigen die Kontakte vorsichtig und gründlich mit einem sauberen, weichen Tuch.

- Ein mit einer Frequenz von 8 Hz blinkendes Dreieck "△" signalisiert Überbelichtung.
- Ein mit einer Frequenz von 8 Hz blinkendes "LT" zeigt Unterbelichtung an.
- Ein konstant leuchtendes "LT" zeigt an, daß eine Verschußzeit zwischen 1 und 4 s gewählt wird.
- Im Manualbetrieb zeigt ein blinkendes "LT" eine Langzeitbelichtung an, wenn das Zeiterad auf 8 s eingestellt wurde.
- In Stellung "AUTO A-S" wird die Meßart dem Motivkontrast entsprechend automatisch gewählt. Beträgt die Helligkeitsdifferenz 3/4 bis 1 1/2 Belichtungsstufen, leuchten "A" und "S" gleichzeitig auf.
- Ist die Batterie erschöpft, blinken die Verschußzeit und die rote Kontrollampe gleichzeitig mit einer Frequenz von 2 Hz auf.
- Ist die Batterie bereits sehr erschöpft, ertönt zusätzlich ein akustisches Warnsignal. Die Batterie muß dann unverzüglich ersetzt werden!
- Bei angesetztem AE Prismensucher erscheinen die Kontrollampen des Gehäuses gegenüber dem Lichtschacht seitenverkehrt.

Technische Daten

Sucherbild	: aufrechtstehend und seitenrichtig durch Dachkantprisma; Suchervergrößerung 0,81 fach (mit Objektiv 2.8/110 mm in Unendlich-Stellung) mit der eingebauten 1.8fach Lupe; Sucherbildgröße 95%
Meßverfahren	: Integral (AV), Spot (SP) und automatische Umschaltung zwischen beiden (AUTO A-S) mit Einstellung über den Meßwerkschalter an der Sucherseite.
Belichtungsregelung	: Elektronisch gesteuerte Verschußzeitenautomatik.
Verschußzeitenbereich	: im Automatikbetrieb 8-1/400s (in 1/6 Stufen) im Manualbetrieb 8-1400s (in 1/2 Stufen)
Sucheranzeigen	: auf der linken Sucherseite konstant leuchtende LEDs für Meßverfahren "A" (Integral) und "S" (Spot); für Verschußzeiten von 1-1/400s, LT (Langzeit) für Zeiten von 2-4 s. leuchten zwei Verschußzeiten LEDs gleichzeitig auf, wird eine Zwischenzeit gewählt. Blinkende LEDs für Über- und Unterbelichtung (Δ bzw. "LT"). Im Manualbetrieb erleichtern rote, orangefarbene und grüne LEDs auf der rechten Sucherseite den Nullabgleich. Bei korrekter Einstellung leuchtet die zentrale grüne LED konstant.
Meßbereich	: LW 1-18,5/Blende 2.8 bei 4 s bis Blende 32 bei 1/400 s mit Film ASA/ISO 100 und Objektiv 2.8/110mm).
Belichtungskorrektur	: ± 3 Blendenstufen in 1/3 Rastungen
Meßwertspeicherung	: In Stellung "AEL" des Verschußzeitenrades am Sucher. Der Meßwert bleibt solange gespeichert, wie der Auslöser angetippt gehalten wird.
Spannungsquelle	: Die Batterie im Kameragehäuse.
Gewicht	: 940 g

Viseur prisme AE FE701

Caractéristiques Principales

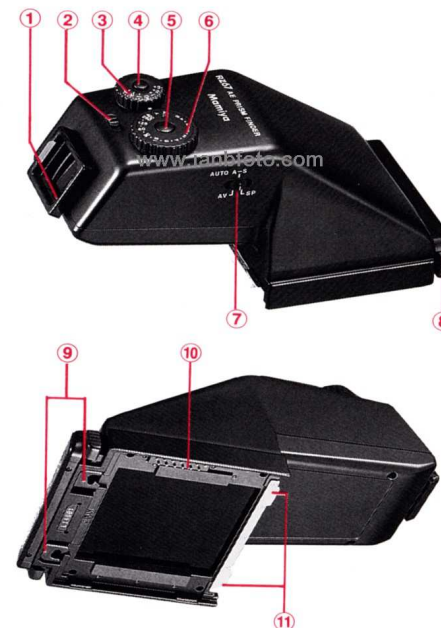
1. Le viseur prisme AE FE701 a un prisme en toit et reproduit une image redressée. L'exposition est contrôlée par électronique. La priorité en automatique est à l'ouverture (AE).
2. Le mode automatique donne des images parfaitement exposées une fois que l'ouverture requise pour l'objectif a été positionnée et la mise au point effectuée. Le mode de mesure, la vitesse d'obturation et un certain nombre de données sont affichées dans le viseur sur le côté gauche par LEDs.
3. Si l'on désire sélectionner manuellement une vitesse, l'exposition correcte peut être obtenue par la mesure du mode zéro, utilisant les LEDs situées sur le côté droit.
4. Afin d'avoir une lecture correcte, le viseur prisme AE FE701 possède un affichage temporisé à 2 secondes permettant la lecture d'une vitesse intermédiaire.
5. Les trois modes de mesure sont: ambiance (A), spot (S) et auto A/S (A/S)
6. Le prisme FE701 possède un verrouillage de l'exposition (AEL) et une compensation de l'exposition ($\pm 3EV$). En position AEL, on ne peut pas utiliser le mode AE, la valeur d'exposition étant verrouillée.
7. Un signal sonore retentit si le positionnement du cadran des vitesses sur le boîtier est incorrect. Il doit être sur AEF.

Important

Pour que le prisme AE fonctionne, le cadran des vitesses du boîtier doit être sur AEF. A cette position, il est déconnecté et c'est seulement celui du prisme AE qui contrôle l'exposition soit sur "A" ou sur toute autre position (index blancs).

Description

- ① Oeillette de visée
- ② Le levier de commande le obturateur oculaire
- ③ Compensation de l'exposition
- ④ Déverrouillage compensation de l'exposition
- ⑤ Déverrouillage du mode auto
- ⑥ Sélecteur de vitesses
- ⑦ Sélecteur de mode
- ⑧ Verrouillage viseur
- ⑨ Pattes de verrouillages
- ⑩ Contacts électroniques
- ⑪ Pointes d'encrage



Montage et démontage du viseur

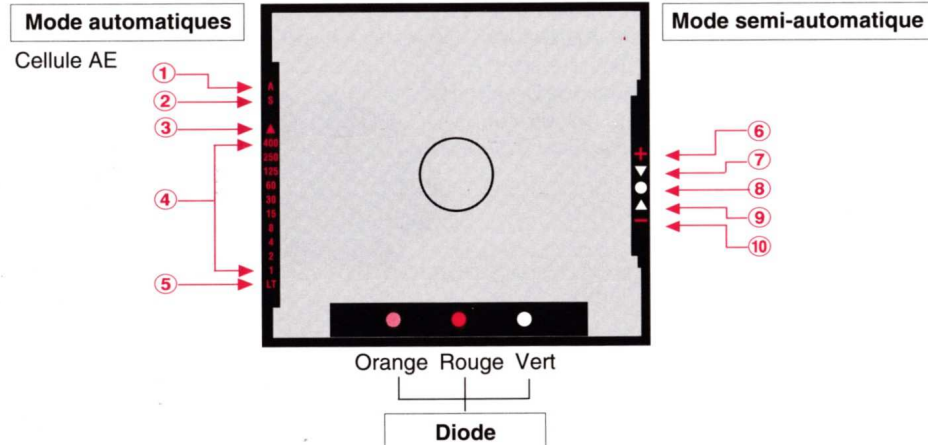
Fixation du viseur:

- Retirez le viseur capuchon du boîtier RZ. Retirez ensuite le protecteur de contact (photo 1) Le viseur AE RZ ne pourrait pas se fixer s'il restait en place.
 - Pour fixer le viseur AE, faites glisser les deux ergots à l'arrière de celui-ci dans les sillons correspondants du boîtier. Puis, tout en repoussant les boutons de verrouillage du viseur, vers l'arrière, pressez-les vers l'intérieur, poussez le viseur vers le boîtier et relâchez les boutons de verrouillage. (photo 2)
- En raison de ce verrouillage à double sécurité, il est impossible que le viseur se détache par inadvertance en pressant simplement sur les verrous. Il faut impérativement les tirer vers l'arrière avant de les presser pour déverrouiller le prisme.

Démontage du viseur:

Oter le viseur par l'avant tout en appuyant sur les boutons de déverrouillage.

Affichage en mode AE



- | | |
|---|---|
| ① Sélection du mode "ambiance" | ⑥ rouge.....surexposition supérieure à +0,75EV |
| ② Sélection du mode "spot" | ⑦ orange.....surexposition entre +0,25EV et 0,75EV |
| ③ Signal de surexposition | ⑧ vert.....exposition correcte +/-0,25EV |
| ④ Vitesses d'obturation | ⑨ orange.....sous exposition entre -0,25EV et -0,75EV |
| ⑤ Signal de poses longues/
Signal de sous exposition | ⑩ rouge.....sous exposition supérieure à -0,75EV |

Utilisation du viseur prisme AE FE701

En mode AE:

- Réglez le sélecteur de vitesse du boîtier sur la position AEF. C'est la position automatique AE. Dans toutes les autres positions du sélecteur, le couplage avec l'automatisme ne se fera pas. (photo 3)
- Il faut noter que si l'on utilise un viseur non automatique comme le viseur capuchon et que le sélecteur des vitesses est sur AEF, l'obturateur ne se déclenchera pas, même si l'on appuie sur le déclencheur. Simultanément, un signal sonore retentira pour avertir d'un positionnement incorrect.
- Alignez le "A" du sélecteur de vitesse du viseur avec l'index. le sélecteur se bloque alors dans cette position correspondant au mode auto AE. (photo 4)
- Si "A" ou "AEL" est positionné sur le point blanc, le cadran sera verrouillé pour prévenir toute fausse manoeuvre, le déverrouillage s'effectue en appuyant sur le bouton central du sélecteur tout en le tournant.
- Vérifiez que la sensibilité du film affichée sur le dos est correcte. (photo 5)
- Une erreur de sélection de sensibilité donnerait de fausses informations au prisme AE.
- Réglez le sélecteur de mode de mesure sur "AV" pour une mesure de type intégrale, "SP3" pour spot ou encore sur la pastille centrale pour la permutation automatique du type de mesure. (photo 6)
- Lorsque le sélecteur est sur "A", la mesure s'effectue sur l'ensemble du champ de l'image. Sur "S", elle s'effectue seulement sur la partie centrale. En mode de permutation automatique, l'appareil choisira automatiquement le type de mesure A ou S selon les conditions de prise de vue.
- Choisissez l'ouverture puis enfoncez le déclencheur à mi-course. Des diodes s'allument alors dans le viseur indiquant le type de mesure sur le côté gauche du viseur.
- De plus, la vitesse d'obturation sélectionnée par l'appareil s'allume en fonction de l'ouverture et des conditions de luminosité. Déclenchez en appuyant complètement le déclencheur.
- Si en mode auto AE, deux vitesses s'allument simultanément, cela signifie que l'on est en vitesse intermédiaire. Par exemple le 1/250 sec et le 1/125 sec s'allument, la vitesse d'obturation sera le 1/180 sec.

Vitesses intermédiaires (références)
(pas d'affichage dans le viseur)

Shutter speed	Intermediate speed
1/400sec	
1/250	
1/125	1/180sec
	1/90
1/60	
	1/45
1/30	
	1/22
1/15	
	1/11
1/8	
	1/5.6
1/4	
	1/2.8
1/2	
	1/1.4
1	
	1.4
2	
	2.8
4	

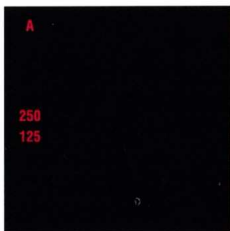
Affichage en mode AE

mode de mesuret



exposition correcte

mode de mesuret

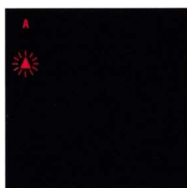


si 2 vitesses s'allument, la vitesse intermédiaire se commutera automatiquement

surexposition

mode de mesuret

clignote
8 fois/sec



sous exposition

mode de mesuret

clignote
2 fois/sec



pose longue

mode de mesuret

s'allume

automatiquement une vitesse d'obturation sera sélectionnée entre 1 et 4 sec,



prise de vue AEL

mode de mesuret

s'allume



pile faible

mode de mesuret

clignote
2 fois/sec



la vitesse d'obturation et la diode rouge clignent,

Mémorisation "AEL"

Le viseur AE RZ est calibré pour fournir une exposition correcte de la plupart des sujets, automatiquement. Cependant avec certains éclairages ou pour réaliser certains effets spéciaux, il pourra être nécessaire de corriger l'exposition. Choisissez alors l'une ou l'autre des méthodes suivantes.

Elle est très utile pour l'exposition de l'élément le plus important du sujet. La mémorisation peut être utilisée avec les deux types de mesure, mais elle est plus efficace en type spot.

Réglez le sélecteur de vitesses du viseur sur la position AEL. (photo 7) Pour déverrouiller le sélecteur de la position "AV" enfoncez d'abord le bouton de déverrouillage avant de faire tourner le sélecteur sur "AEL". Centrez ensuite dans le viseur la partie la plus importante du sujet et enfoncez le déclencheur à mi-course. L'exposition ainsi mesurée est mémorisée tant que vous pressez le déclencheur. Recadrez puis déclenchez.

- Si vous enfoncez le déclencheur à fond avant que l'indication de vitesse apparaisse en mode "AEL", l'exposition ne sera pas correcte. En mode "AEL", ne déclenchez jamais avant que la vitesse soit indiquée dans le viseur.
- Il est possible d'obtenir une exposition correcte avec le déclencheur à distance si l'appareil est en mode AEL.

Correcteur d'exposition

Après avoir enfoncé le bouton de déverrouillage, il est possible de faire tourner le cadran de correction pour corriger l'exposition jusqu'à ± 3 valeurs. (photo 8) Le correcteur est gradué par tiers de valeurs (encliquetées). Pour augmenter l'exposition, faites tourner le correcteur vers "+", et pour la diminuer, vers le "-". Après chaque utilisation du correcteur, vérifiez bien que vous le replacez sur la position "0". Il se bloque alors en place afin d'éviter toute correction involontaire.

Mode semi-automatique

Positionner le sélecteur des vitesses sur "AEF".

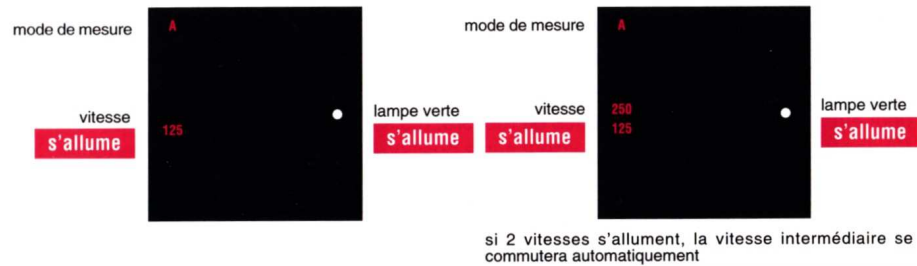
1. Positionner le cadran des vitesses du viseur sur toute vitesse à l'exposition de "A" ou "AEL". (photo 9)
2. Sélectionner le mode de mesure (AV-A/S ou SP) avec la commande n°7 sur le côté du viseur. (photo 10)
3. Tout en appuyant à mi-course sur le déclencheur, le mode et la vitesse sélectionnés s'afficheront.
4. Vous devez maintenant utiliser le mode de mesure de remise à zéro par observation des indicateurs sur le côté droit.
5. Détermination de l'exposition correcte. Vous décidez du paramètre à sélectionner: vitesse d'obturation ou ouverture.
Tant pour la vitesse d'obturation ou l'ouverture, il faut tourner la bague des diaphragmes jusqu'à ce que la diode verte s'allume à droite. Les signes "+" et "-" rouges et les flèches oranges vous indiqueront le sens de la manoeuvre.

Français

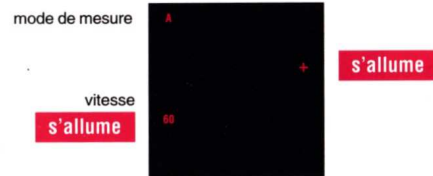
Français

Affichage en mode Semi-Auto

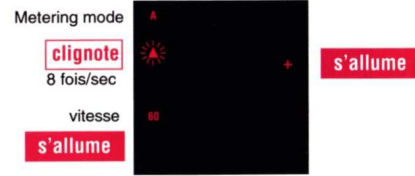
exposition correcte



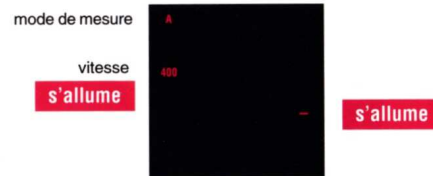
surexposition



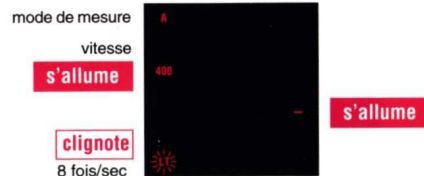
surexposition extrême



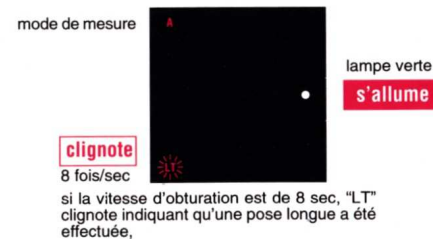
sous exposition



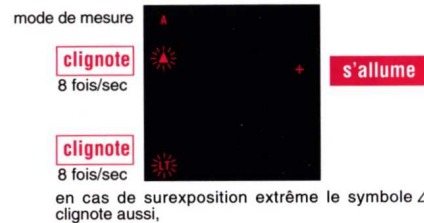
sous exposition extrême



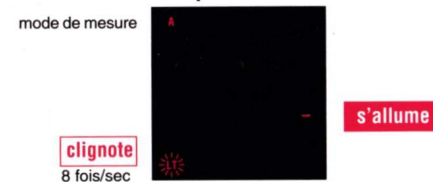
exposition correcte à 8 sec



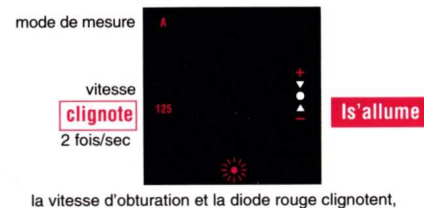
surexposition à 8 sec



sous exposition à 8 sec



pile faible



Lentilles de correction dioptrique

La vergence de l'oculaire est réglée pour offrir un excellent confort de visée aux personnes dont la vision est normale. Des lentilles correctrices ont été prévues pour les myopes et les hypermétropes qui ne portent pas de lunettes ou dont les lunettes sont imparfaitement correctrices.

Types de Lentilles correctrices

Elles existent en huit types: +3, +2, +1, -1, -2, -3, et -4 dioptries.

Montage des Lentilles correctrices

Retirez l'ocillon; Introduisez la lentille dans la fenêtre de l'oculaire. Remplacez l'ocillon. (Photo 11)

Magnifier à correction dioptrique variable (2,4x)

Cet accessoire utile se monte sur le viseur et à une rotation totale. Il agrandit le centre de l'image de 2,4x, à une correction dioptrique incorporée de +4 à -6.

Il permet la mise au point aisée de sujets difficiles.

Quelques suggestions concernant le choix du mode de mesure

1. Lorsque l'intérieur, le sujet est dos à une fenêtre, ou à l'extérieur dos à un ciel lumineux ou à un paysage de neige, l'arrière plan brillant va induire la cellule en erreur si le mode Intégral à été sélectionné. Il résultera de la mesure une sous exposition du sujet. Dans un tel cas, si vous souhaitez que le sujet soit convenablement exposé, utilisez le mode de mesure Spot. La mesure est alors limitée à la zone centrale du viseur.
2. En contre-jour, employez seulement le mode "A" (Intégral) lorsque vous souhaitez que le sujet apparaisse en silhouette.
3. En mode de Permutation automatique de la mesure, si la différence entre la mesure Spot et la mesure Intégrale est de plus d'1 1/2 valeur d'exposition (un diaphragme et demi), l'appareil choisira automatiquement la mesure Spot. Lorsque les mesures Spot et Intégrale sont sensiblement identiques, l'appareil choisira le type Intégral. Lorsque la différence des deux mesures est comprise entre 0,75 et 1,5 valeur, il fait une combinaison deux mesures correspondant à une mesure intégrale pondérée.
4. Pour obtenir la meilleure précision d'exposition dans les conditions les plus délicates, utilisez la mesure Spot et la mémorisation (AE Lock).

- Lorsque l'appareil est télécommandé, pensez à obturer l'oculaire pour éviter l'entrée de toute lumière parasite dans le viseur.

Précautions d'emploi

- Comme la mesure s'effectue derrière l'objectif, il n'est pas nécessaire de corriger l'exposition lorsque l'on change l'objectif, que l'on travaille en macro ou que l'on utilise des filtres.
- Il est possible de déclencher jusqu'à une minute après que le miroir ait été relevé; l'exposition correspondra à la mesure qui prévalait juste avant l'escamotage du miroir.
- La lumière parasite qui peut éventuellement pénétrer par l'oculaire est susceptible de fausser la mesure, donc d'entraîner une sous exposition. Pour éviter cela, tenez votre oeil le plus près possible de l'oculaire au moment de la mesure.
- Dans la mesure où les objectifs RB ne disposent pas de système de couplage électrique, le viseur AE RZ ne pourra pas mesurer la lumière (les diodes ne s'allument pas) lorsque vous les emploierez.
- La mesure délivrée par le viseur AE RZ n'est pas fiable lorsque l'on utilise le verre de visée type D à réticule dont la partie centrale est totalement transparente.
- Treize contacts électriques relient le toit du boîtier à la base du prisme. Nettoyez-les régulièrement pour éviter tout dépôt de saleté qui nuirait au couplage électrique. Pour cela, retirez le viseur, et utilisez un chiffon doux avec lequel vous frotterez délicatement les contacts. Terminez en employant une soufflette pour retirer les dernières traces de poussière avant de remettre le viseur en place.
- le symbole ⏏ clignote 9 fois/sec: indication de surexposition,
- le symbole "LT" clignote 8 fois/sec: indication de sous exposition,
- si "LT" s'allume, une vitesse d'obturation est automatiquement sélectionnée entre 1 et 4 sec,
- en mode semi-automatique, si la vitesse d'obturation du cadran des vitesses est sur 8 sec, "LT" clignotera pour indiquer la pose longue,
- en mode auto A/S, le mode de mesure est sélectionné en fonction des conditions de prises de vue. Si la zone lue en mode spot a un contraste de 3/4 à 1 1/2 diaphragme que le reste de l'image, "A" et "S" s'allumeront,
- si la pile est faible, la vitesse indiquée et la diode centrale rouge clignotent 2 fois/sec,
- si la pile est morte, le signal sonore retentit aussi. Remplacer la pile immédiatement,
- quand le prisme AE-FE701 est fixé sur le boîtier, les LEDS apparaissent en ordre inverse.

Caractéristiques

- Viseur** : prisme en toit et image redressée latéralement. Magnification 0,81 x (avec objectif 110mm F2.8 à l'infini). Magnifier incorporé de 1,8x, soit 95% du champ couvert.
- Système de mesure** : trois modes de mesure : ambiance (A), spot (SP) et auto A/S (A/S) peuvent être sélectionnés par la commande latérale.
En mode semi-auto, trois LEDS (rouge, orange, vert) sur le côté droit du viseur facilite la mise à zéro. L'exposition correcte est indiquée par la LED centrale.
- Système de contrôle** : priorité électronique à l'ouverture AE.
- Gamme des vitesses** : en AE: 8 sec – 1/400 sec (par 1/2 valeur)
semi-auto: 8 sec – 1/400 sec (par 1/2 valeur)
- Informations dans le viseur** : le type de mesure est indiqué par "A" (intégrale) ou "S" (spot). Indication de la vitesse de 1/400 sec à 1 sec et d'exposition longue ("LT" de 1 sec à 4 sec).
Lorsque deux vitesses voisines clignotent simultanément cela indique que l'on est à une vitesse intermédiaire. Indication de surexposition par diode triangulaire clignotante et de sous exposition par diode "LT" clignotante.
- Echelle de mesure** : de IL 1 à IL 18,5 (4 sec à f2,8 jusqu'à 1/400 sec à f/32 avec un film de 100 ASA/ISO et objectif standard f/2,8).
- Correction d'exposition** : + ou – 3 valeurs avec encliquetage par tiers de valeur.
- Mémorisation** : en enfonçant le déclencheur à mi-course lorsque le sélecteur de vitesses est sur la position "AEL".
- Alimentation** : par la pile du boîtier
- Poids** : 940 g